

沖縄海邦銀行

第76期 営業の中間ご報告

2022年4月1日から2022年9月30日まで
(2022.9 ミニディスクロージャー誌)



OKINAWA
KAIHO

当行の概要 (2022年9月30日現在)

創 立	1949年5月1日
設 立	1964年4月2日
資 本 金	45億37百万円
本 店	〒900-8686 沖縄県那覇市久茂地2丁目9番12号 電話番号 (098) 867-2111 (代表)
店 舗 数	50店舗* (うち出張所2店舗) ※店舗内店舗方式 (ランチ・イン・ランチ) による移転を実施したことに伴い、店舗の 拠点数としては39拠点となっております。
従 業 員 数	813名
株 主 数	2,296名
ホームページアドレス	https://www.kaiho-bank.co.jp

CONTENTS (目次)

ごあいさつ	… P 1
経営方針	… P 2
トピックス	… P 4
かいぎんSDGs宣言	
1. 自然環境の保全	… P 6
2. 地域経済の発展、持続的な成長	… P 8
3. 地域社会の活性化	… P 10
業績ハイライト	… P 12
第76期 中間財務諸表 (単体)	… P 14
第76期 中間財務諸表 (連結)	… P 15
役員、株式のご案内	… P 16
かいぎんのネットワーク	… P 17



代表取締役頭取 新城一史

ごあいさつ

皆さまには、平素より沖縄海邦銀行をご利用、ご愛顧いただき、心より御礼申し上げます。

さて、ここに2022年度9月中旬期における営業の概況と決算状況についてご報告申し上げます。当行について、より一層のご理解をいただくための参考となれば幸いに存じます。

2022年度上半期における国内経済は、新型コロナウイルス感染拡大防止と経済活動の両立が図られる中で、全体として持ち直しの動きが続きました。しかしながら、地政学的リスクなどを背景に、エネルギーコストや原材料価格の高騰、急激な為替変動等、企業や家計に対するインフレ圧力が強まっており、景気の先行きは不透明な状況が続きました。

県内経済についても、外出機会の増加や消費者マインドの回復によりハイシーズンを迎えた観光関連産業が下支えしたことから、全体として緩やかに持ち直しの動きが見られています。その一方で、人手不足やレンタカー不足など受入態勢の課題が顕在化しました。また、中小・小規模事業者を中心に、上昇する仕入れ値の価格転嫁に苦慮するなど企業経営を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いております。

そうした状況において、地域金融機関においては地域の特性や企業ステージを踏まえ、関係支援機関とのネットワークを活かしながら、お客さまに寄り添ったきめ細かい伴走型の支援が求められております。

当行は、このような環境のもと、お客さま支援に軸足を置いた活動を強化することを方針に掲げ、第17次中期経営計画「スピード&クイックレスポンス」(計画期間：2022年4月～2025年3月)に取り組んでいます。今まで以上のスピード感を持ち、お客さま本位の良質な金融サービスの提供を行うことで、様々な課題解決に向けた取組みを実践してまいります。ポストコロナを見据え、これまで培ってきた事業者支援のノウハウを活かし、「お客さまのお役に立てる一番身近な銀行」を目指して全力で支援してまいります。

皆さまにおかれましては、今後とも、なお一層のご支援とご愛顧を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2022年12月

経営方針

経営理念

地域
密着

健全
経営

人材
育成

行動指針 KAIHO MINDS

K A I H O

Kind Active Intelligence Honest Originality

ブランドスローガン

Beyond the Bank

あなたの明日へ

第17次中期経営計画

(2022年4月～2025年3月)

第17次中期経営計画では、当行の強みであるフットワークを活かし、今まで以上のスピード感を持って多様なニーズに応え、お客さま本位の良質な金融サービスの提供に取り組みます。

..... キャッチフレーズ

スピード&クイックレスポンス

..... 当行の目指す姿

お客さまのお役に立てる一番身近な銀行

..... 基本方針

あなたの明日へ全力支援

重点施策

御用聞き・コンサルティング営業の強化

リテール業務の強化・効率化 | 事務の省力化・軽量化・省人化

多様な人材が活躍できる体制づくり | お客さまチャネル多様化への対応

お客さま本位

ガバナンス

コンプライアンス

リスク管理

SDGs

トピックス

2022年8月15日



沖縄海邦銀行アプリ (通称:かいぎん通帳アプリ)リリース

個人のお客さま向けスマートフォンアプリの提供を開始しました。

通帳機能(残高照会、入出金明細照会)を基本とし、インターネットバンキングログインやその他の機能も便利にご利用いただけるバンキングアプリです。



▼ ダウンロードはこちらから ▼



2022年7月19日



かいぎん美里プラザ OPEN

美里支店内に「かいぎん美里プラザ」をオープンしました。

プライバシーに配慮した相談ブースを設けており、ゆっくりと落ち着いた雰囲気ですべての資産運用や各種ローンなどについて、お気軽にご相談いただけます。

お客さまのご来店を心よりお待ちしております。



新CM「若き挑戦者たち」編 放映スタート

当行イメージガールの池間夏海さんが銀行員役として出演する新CMの放映を開始しました。

本CMは、起業家にスポットを当て、様々な悩みや課題の解決に向けて全力でサポートする構成となっております。

当行は今後も、地域金融機関として個人のお客さまや事業者のみなさまを応援し、一人ひとりを笑顔に、沖縄を元気にしていけるように取り組んでいきます。





1.自然環境の保全



みどりの運動

当行は、1974年から長年にわたり「みどりの運動」を展開しています。

「沖縄をみどりの島に！ 緑と花で心にやすらぎを！」のキャッチフレーズで、郷土に緑と花を増やし、安らぎのある街づくりに取り組んでいます。



みどりの募金

みどりの運動に賛同して下さったお客さまや役職員からの募金により、寄付活動を行っています。みどりの募金への寄付は、みどりの運動が発足した1974年から48年間にわたり続けています。

これまでの募金総額は1億1,300万円となり、お客さまや役職員などから寄せられたご厚意は、さまざまな緑・森林づくりに活用されています。

かいホーくんフラワー大作戦

地域のみなさまと共にSDGsに貢献する緑化活動を広げようと、2021年11月8日より「かいホーくんフラワー大作戦」を実施し、窓口でお花のタネをお配りしました。お花が咲くまでの成長過程をご投稿いただき、ホームページに掲載しています。



- ▶「みどりの運動」を継続し、緑化推進、環境保全の啓発に貢献します。
- ▶「チーム美らサンゴ」への参加や海浜清掃活動を通して、海洋環境の改善に努めます。

チーム美らサンゴへの参加

2005年より「チーム美らサンゴ」に参加し、サンゴ礁の再生・保全活動に取り組んでいます。

2022年5月28日、サンゴ苗植え付けイベントに参加し、万座ビーチリゾート付近のポイントに60本のサンゴ苗を植え付けました。



初開催!

美ら島クリーン運動

2022年9月17日、役職員による新たなSDGsの実践活動として、宮古・八重山で海浜清掃活動を実施しました。今後も、沖縄の自然・海洋環境の保全を通して持続可能な社会の実現を目指します。

宮古



八重山





2.地域経済の発展、持続的な成長

TBBの活動について

Team Beyond the Bank ~TBBの活動~

当行では、「お客さまのお役に立てる一番身近な銀行」を実現するために「TBB」(Team Beyond the Bank)を結成しています。

これまでの銀行業務の枠組みを超えた新しい形での顧客支援として、中小企業と外部機関を「繋げる」相談会の企画や経営計画作成などを通して事業成長のサポートをしてきました。

お客さまが持つ課題や描くビジョンについて、共に考え、一緒に未来を創り上げていく過程から共通価値は生まれます。私たちはお客さまと同じ目線に立ち、真に求められるサービスを提供することでお互いに信頼しあえる関係性の構築を目指して活動しています。



TBB 活動理念 (4C)

- Challenge** 前例のないことに挑戦していく
- Creative** かいぎんの新たな未来を見出し、文化を創り出す
- Change** あらゆる環境で、知見を深め、魅力ある人材に変わっていく
- Connect** かいぎん、お客さま、外部機関をあらゆる角度で繋げていく

銀行の枠を超えた新たなサービスの創造



新任法人営業係向け研修



事業計画作成・ヒアリング



外部機関連携の個別相談会

▶お客さまの企業ステージごとの経営支援およびソリューション活動に注力し、地域経済の発展と持続的な成長を支援します。

沖縄県商工会連合会と
連携

「コロナ禍を乗り越える」 経営セミナー&事業計画書策定ワークショップ開催

2022年7月13日から計4日間にわたり、事業計画書策定ワークショップを開催しました。

創業者を対象としたワークショップでは、当行員が事業計画書の策定をサポートし、セミナーでは中小企業診断士による講義と県内企業の経営者による講話を行いご好評をいただきました。



南部地区



中部地区



約
120着!

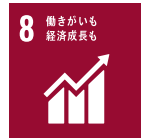
かりゆしウェアを リユース・リメイク

SDGsの一環として、「かりゆしウェアプレゼント企画」を実施しました。

役職員からの提供を募り2022年度新入行員および、かりゆしウェアのリメイクを行うお取引先は無償提供し、ご活用いただいております。

今後ともSDGsの取組みを推進いたします。





3.地域社会の活性化

美里中学校へ寄付金を贈呈

2022年7月1日、第39回全日本少年軟式野球大会に出場する美里中学校へ、全国大会出場派遣費として寄付金10万円を贈呈しました。



沖縄海邦銀行杯争奪
中学校軟式野球大会
優勝校



2022年度 沖縄大学冠奨学金授与式 2022年8月17日



沖縄大学冠奨学金事業へ寄付

2022年8月17日、沖縄大学にて「2022年度沖縄大学冠奨学金授与式」が行われました。
経済面で学生を支援し、学業を奨励するという人材育成の趣旨に賛同し、2007年度より寄付を行っています。





- ▶地域に密着した社会貢献活動を通し、地域の課題解決や産業振興、コミュニケーションの活性化に寄与します。
- ▶沖縄の文化・伝統やスポーツの振興を支援し、豊かな社会環境の構築に貢献します。

夏の交通安全運動へ参画

2022年7月15日、赤道区自治会・赤道南大通り会と共催し、「夏の交通安全運動」を実施しました。お客さまと地域のみなさまに交通安全の呼びかけを行い、地域の繋がりを深めました。



夏の甲子園出場



興南高等学校へ寄付金を贈呈

2022年7月19日、第104回全国高校野球選手権大会に出場する興南高等学校へ、派遣費の助成として当行および海銀ボランティア基金（海邦コーラル倶楽部）から寄付金50万円を贈呈しました。



業績ハイライト (単体)

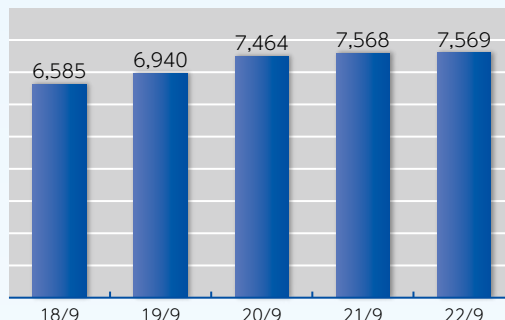
預金

7,569 億円

預金残高は、個人預金および地方公共団体その他預金は増加しましたが、法人預金の減少により、前年同期比1億21百万円増加の7,569億87百万円となりました。

預金期末残高

(単位:億円)



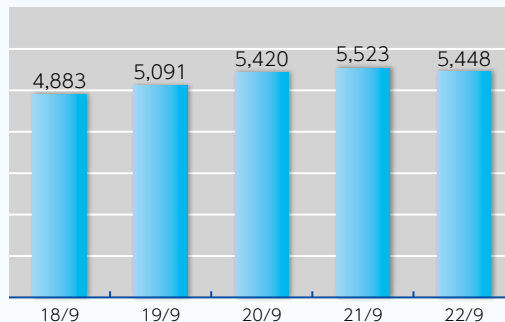
貸出金

5,448 億円

貸出金残高は、前年度に比べコロナ関連の緊急的な資金需要が落ち着いたことなどから、前年同期比75億39百万円減少の5,448億24百万円となりました。

貸出金期末残高

(単位:億円)



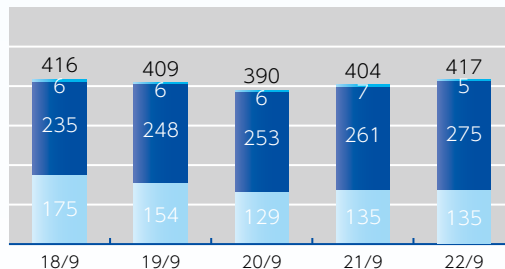
預かり資産

417 億円

預かり資産残高は、生命保険の新規契約が増加したことから、前年同期比12億79百万円増加の417億27百万円となりました。

預かり資産期末残高

(単位:億円)



■ 投資信託 ■ 生命保険 ■ 国債

※記載金額は億円単位未満を切り捨てて表示しております。

経常利益

11 億円

経常利益は、貸出金利息収入は減少しましたが、有価証券利息配当金の増加に加えて、営業経費が減少したことなどから、前年同期比5億11百万円増加の11億41百万円となりました。中間純利益は、前年同期比4億73百万円増加の10億48百万円となりました。

コア業務純益

9 億円

コア業務純益は、業務粗利益の増加に加え、営業経費が減少したことなどから、前年同期比1億77百万円増加の9億12百万円となりました。

自己資本比率

8.89%

自己資本比率は、利益の積み増しによる自己資本の増加とリスクアセットの減少により、前年同期比0.40ポイント上昇の8.89%となりました。国内基準の4%を上回っており、安定した経営基盤を確保しています。

用語解説

■コア業務純益

預金や貸出金、為替業務などであげた利益(業務純益)から「一般貸倒引当金繰入額」や「国債等債券損益」など、一時的な要因を除いたものがコア業務純益となります。銀行の本来の業務から得られる利益を示すものです。

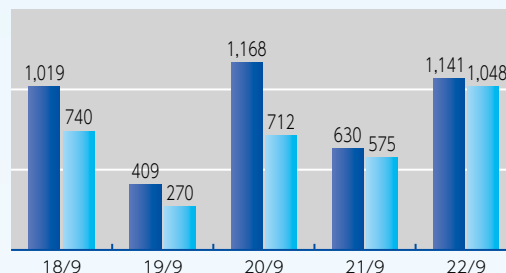
■自己資本比率

資産に対する自己資本の割合を示すもので、金融機関の財務内容の健全性を判断する重要な指標となっています。現在、当行のように海外に店舗を持たない銀行においては、その数値が4%以上であることが求められています。

経常利益・中間純利益

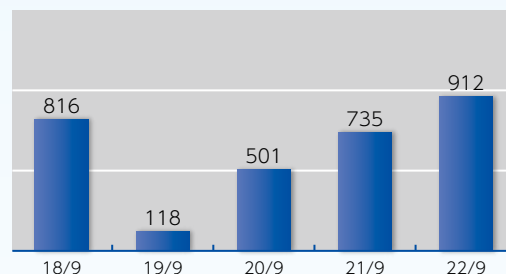
■ 経常利益 ■ 中間純利益

(単位:百万円)



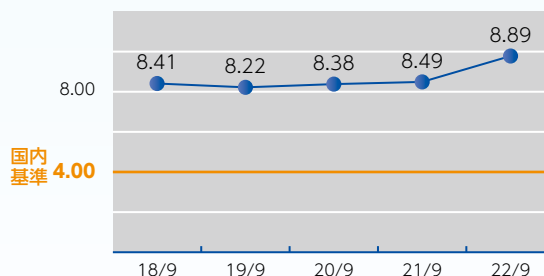
コア業務純益

(単位:百万円)



自己資本比率

(単位:%)



第76期中間財務諸表 (単体)

■ 中間貸借対照表 (2022年9月30日)

(単位：百万円)

科 目	金 額
(資産の部)	
現金預け金	101,207
コールローン	72
有価証券	177,342
貸出金	544,824
外国為替	405
その他資産	6,759
有形固定資産	8,469
無形固定資産	812
前払年金費用	828
繰延税金資産	682
支払承諾見返	1,709
貸倒引当金	△ 3,276
資産の部合計	839,838
(負債の部)	
預金	756,987
借入金	34,000
外国為替	5
その他負債	4,119
賞与引当金	330
退職給付引当金	302
役員退職慰労引当金	88
睡眠預金払戻損失引当金	5
偶発損失引当金	112
繰延税金負債	-
支払承諾	1,709
負債の部合計	797,661
(純資産の部)	
資本金	4,537
資本剰余金	3,219
利益剰余金	34,625
自己株式	△ 28
株主資本合計	42,354
その他有価証券評価差額金	△ 178
評価・換算差額等合計	△ 178
純資産の部合計	42,176
負債及び純資産の部合計	839,838

記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 中間損益計算書 (2022年4月1日から2022年9月30日まで)

(単位：百万円)

科 目	金 額
経常収益	6,314
資金運用収益	5,350
うち貸出金利息	4,756
うち有価証券利息配当金	495
役員取引等収益	628
その他業務収益	117
その他経常収益	216
経常費用	5,172
資金調達費用	25
うち預金利息	31
役員取引等費用	518
その他業務費用	3
営業経費	4,549
その他経常費用	75
経常利益	1,141
特別利益	285
特別損失	97
税引前中間純利益	1,329
法人税・住民税及び事業税	245
法人税等調整額	35
法人税等合計	280
中間純利益	1,048

記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第76期中間財務諸表 (連結)

中間連結貸借対照表 (2022年9月30日)

(単位: 百万円)

科 目	金 額
(資産の部)	
現金預け金	101,208
コールローン及び買入手形	72
有価証券	177,257
貸出金	544,824
外国為替	405
その他資産	6,766
有形固定資産	8,469
無形固定資産	813
退職給付に係る資産	954
繰延税金資産	646
支払承諾見返	1,709
貸倒引当金	△ 3,276
資産の部合計	839,851
(負債の部)	
預金	756,808
借入金	34,000
外国為替	5
その他負債	4,110
賞与引当金	333
退職給付に係る負債	295
役員退職慰労引当金	88
睡眠預金払戻損失引当金	5
利息返還損失引当金	6
偶発損失引当金	112
繰延税金負債	-
支払承諾	1,709
負債の部合計	797,475
(純資産の部)	
資本金	4,537
資本剰余金	3,219
利益剰余金	34,698
自己株式	△ 28
株主資本合計	42,426
その他有価証券評価差額金	△ 178
退職給付に係る調整累計額	93
その他の包括利益累計額合計	△ 84
非支配株主持分	33
純資産の部合計	42,375
負債及び純資産の部合計	839,851

記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結損益計算書 (2022年4月1日から2022年9月30日まで)

(単位: 百万円)

科 目	金 額
経常収益	6,323
資金運用収益	5,350
うち貸出金利息	4,756
うち有価証券利息配当金	495
役員取引等収益	641
その他業務収益	117
その他経常収益	212
経常費用	5,190
資金調達費用	25
うち預金利息	31
役員取引等費用	518
その他業務費用	3
営業経費	4,554
その他経常費用	87
経常利益	1,132
特別利益	285
固定資産処分益	18
移転補償金	266
特別損失	97
固定資産処分損	26
減損損失	71
税金等調整前中間純利益	1,320
法人税・住民税及び事業税	246
法人税等調整額	32
法人税等合計	278
中間純利益	1,041
非支配株主に帰属する中間純利益 (△)	△ 1
親会社株主に帰属する中間純利益	1,043

記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結包括利益計算書 (2022年4月1日から2022年9月30日まで)

(単位: 百万円)

科 目	金 額
中間純利益	1,041
その他の包括利益	△ 1,753
その他有価証券評価差額金	△ 1,734
退職給付に係る調整額	△ 19
中間包括利益	△ 711
親会社株主に係る中間包括利益	△ 710
非支配株主に係る中間包括利益	△ 1

記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結される子会社 2社

株式会社海邦総研

かいぎんカード株式会社

役員、株式のご案内

役員 (2022年9月30日現在)

代表取締役頭取	しん じょう かず ひみ 新 城 一 史
代表取締役専務	こ じょう せい いちろう 湖 城 誠一郎
常務取締役	おお しろ まさ と 大 城 昌 人
常務取締役	さき はら まさ き 崎 原 正 樹
取締 役	さき やま ひろ ゆき 崎 山 博 之
取締 役	ひら かわ まちる 平 川 衛
取締 役	みや お なお こ 宮 尾 尚 子
取締 役	にし ざと よし あき 西 里 喜 明
常勤監査役	ほか ま まさ やす 外 間 政 康
監 査 役	おお みね みつる 大 嶺 満
監 査 役	う え ず と も か ず 上江洲 智 一

(注) 取締役 宮尾 尚子及び取締役 西里 喜明は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。

(注) 監査役 大嶺 満及び監査役 上江洲 智一は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

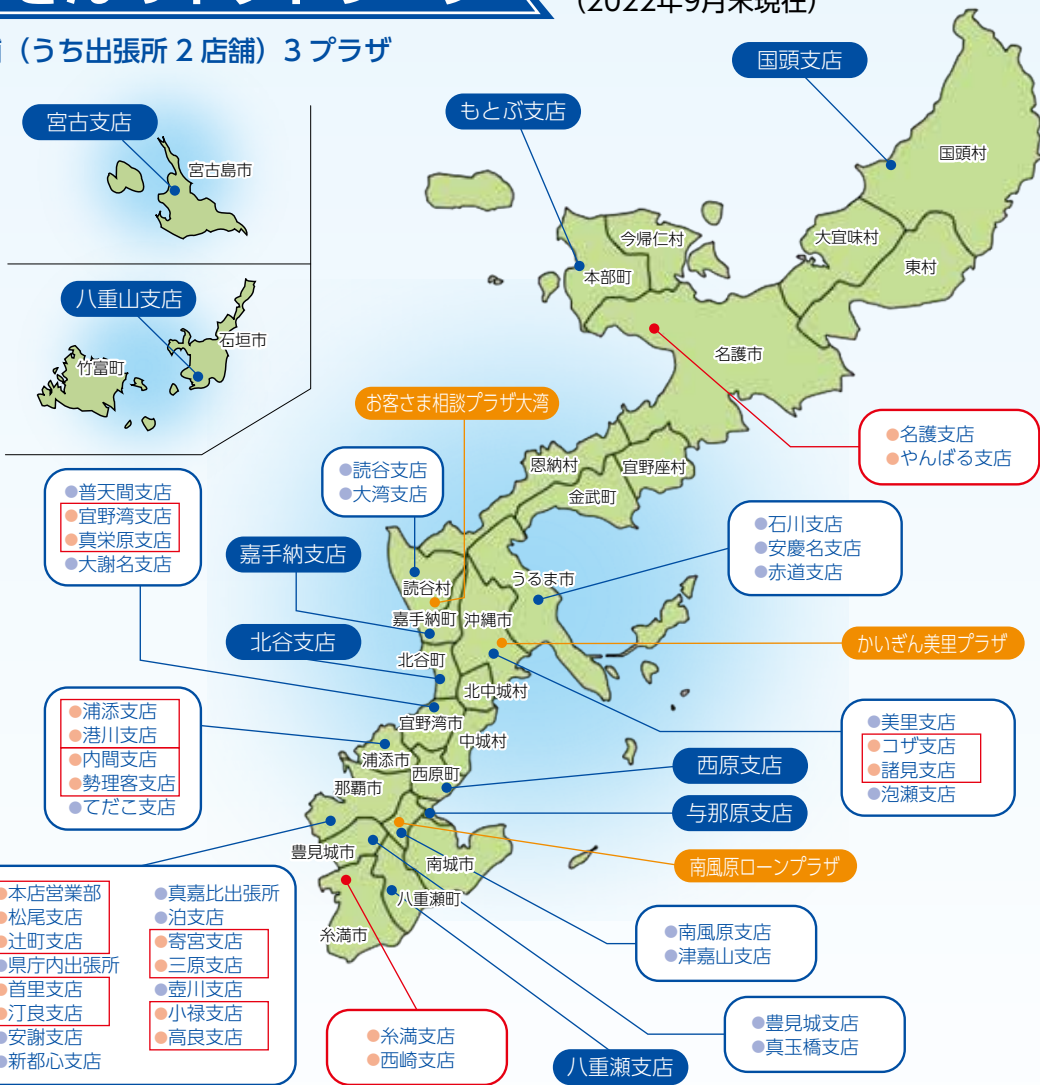
株式のご案内 (2022年9月30日現在)

決 算 日	毎年3月31日に決算を行います。
定時株主総会	毎年決算日の翌日から3ヶ月以内に開催いたします。
配 当 金 支 払	利益配当金は毎年3月31日現在の株主名簿に記載の株主または登録質権者に定時株主総会終了後、ご指定の方法によりお支払いいたします。 また、中間配当を行う場合は取締役会の決議により、9月30日現在の株主名簿に記載された株主または登録質権者に対しお支払いいたします。 なお、配当金のお受取りには、お近くの当行本支店の預金口座への振込をご指定くださいますと速くて便利です。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
同 取 次 所	三井住友信託銀行株式会社 全国本(各)支店
同事務取扱所	東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031(フリーダイヤル)
株式取扱手数料	株式名義書換…無料 不所持申出株券の発行または返還…株券1枚につき300円 新株券交付…株券1枚につき300円
マイナンバーのお届出	株式等の税務関係のお手続きに関しては、マイナンバーのお届出が必要となります。 お届出がお済みでない株主さまは、お取引のある証券会社等へマイナンバーのお届出をお願いいたします。 【マイナンバーのお届出に関するお問い合わせ先】 ○証券口座にて株式を管理されている場合 お取引の証券会社までお問い合わせください。 ○証券会社とお取引がない場合 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031(フリーダイヤル)

かいぎんのネットワーク

(2022年9月末現在)

50店舗 (うち出張所 2店舗) 3プラザ



●△△支店 ・ ●△△支店 …店舗内店舗実施店

店舗内店舗 (ブランチ・イン・ブランチ) とは

複数の営業店が1つの建物を併用して営業を行う店舗形態です。移転する店舗(子店)は廃止にならないため、移転後も店名・店番・口座番号の変更はございません。移転先の店舗(母店)の窓口は共通窓口として、いずれの支店のお取引も可能です。

プラザのご案内

南風原ローンプラザ：☎0120-07-4780

お客さま相談プラザ大湾：☎0120-61-8560

かいぎん美里プラザ：☎0120-78-8722

○盗難・紛失などのトラブルはここにお電話ください
沖縄海邦銀行ATM監視センター【24時間対応】 0120-811-335

<https://www.kaiho-bank.co.jp>

2022年12月発行

株式会社 沖縄海邦銀行 総合企画部

〒900-8686 沖縄県那覇市久茂地2-9-12 TEL098-867-2112

Beyond the Bank

あなたの明日へ



ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づいた
見やすいデザインの文字を採用しています。